

五藤武史写真展「大阪平野の赤トンボ」

五藤 武史（高石市）

期間：2012年10月5日（金）～10月26日（金）

場所：自然遊学館特別展示会場（元関空交流館）

大阪平野で、私が撮影した、トンボの種類を数えてみると60種を越えていました。全ての種を紹介できませんので、今回は、アカネ属のトンボを写真で紹介しました。青い赤トンボ「ナニワトンボ」、日本一小さいアカネ「ヒメアカネ」も展示しました。

「赤いトンボ」と「赤トンボ」

赤トンボは、トンボの分類上「アカネ属」のトンボのことを言います。「アカネ属」のトンボのほとんどは赤くなりますが、赤くならない赤トンボもいます。逆に、赤いトンボなのに、赤トンボの仲間ではないトンボがいます。ここでは、2種紹介します。

一つ目は、「ショウジョウトンボ」です。4月頃から、池でよく見かけます。池に生えた植物の先に停まっています。オスは、体が真っ赤で、翅（はね）の付けね部分がオレンジ色をしています。メスは、地味な褐色をしています。

もう一種は「ウスバキトンボ」です。夏に一番よく見かけるトンボです。高校野球のテレビ中継で、外野手の近くを何匹ものトンボが、スイスイ飛んでいるのをよく見ます。このトンボです。

ショウジョウトンボ♂ 貝塚市二色

ウスバキトンボ♂ 堺市浜寺南町

「青い赤トンボ」

「アカネ属」のトンボ（赤トンボ）の中には、オスもメスも赤くない種がいます。その一つが「ナニワトンボ」です。世界に、ただ一種の青い色をした赤トンボです。大阪で見つけられたので「浪華トンボ」の名前が付けました。このトンボは、貝塚市にも棲息しています。街中にはいませんが、



名越や馬場の池での棲息が確認されています。

最近では棲息数が減少して、絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されています。「絶滅の危惧が増大している種」という分類に入ります。

ナニワトンボ♂ 貝塚市名越

ナニワトンボ♂ 貝塚市名越

「小さな赤トンボ」

世界一小さなトンボが、日本にいます。和歌山県の古座川町などに棲息するハッチョウトンボです。体長 18mm～20mm です。オスは体が赤いですが、赤トンボの仲間ではありません。大阪平野にいる、小さな赤トンボは「マイコアカネ」と「ヒメアカネ」です。体長はそれぞれ 31 mm～38mm と 31 mm～37 mm です。

マイコアカネは、顔の部分が白く、京都の舞妓さんの顔に似ているので、この名前が、つきました。遊学館のトンボの池でも見る事が出来ます。写真は、浜寺公園で撮影したマイコアカネです。

ヒメアカネは、日本にいる「アカネ属」（＝赤トンボ）のなかでは、一番小型です。メスの体は黄色です。オスも未熟な時は黄色ですが、成熟すると赤くなります。貝塚市では、馬場や菰谷などで、見つかっています。

ヒメアカネ♂ 和泉市信太山

ヒメアカネ♂ 和泉市信太山

マイコアカネ♀ 堺市浜寺公園

マイコアカネ♂ 堺市浜寺公園

展示写真一覧

1. アキアカネ♀♂ペア 堺市浜寺公園
2. アキアカネ♂ 岸和田市牛滝
3. タイリクアカネ♂ 堺市浜寺公園
4. タイリクアカネ♀♂ペア 堺市浜寺公園
5. ナツアカネ♂ 堺市浜寺公園
6. マユタテアカネ♂ 岸和田市河合町
7. マユタテアカネ♀ 貝塚市木積畑
8. マイコアカネ♂ 堺市浜寺公園
9. マイコアカネ♀ 堺市浜寺公園
10. マイコアカネ♂ 堺市浜寺公園
11. ヒメアカネ♂ 和泉市信太山
12. ヒメアカネ♂ 和泉市信太山

13. ミヤマアカネ♂ 岸和田市相川町
14. ミヤマアカネ♀ 岸和田市相川町
15. ミヤマアカネ♂ 岸和田市相川町
16. ノシメトンボ♀♂ペア 堺市浜寺公園
17. コノシメトンボ♀ 堺市浜寺公園
18. リスアカネ♂ 貝塚市蕎原
19. リスアカネ♂ 貝塚市蕎原
20. ナニワトンボ♂ 貝塚市名越
21. ナニワトンボ♂ 貝塚市名越
22. キトンボ♂ 堺市浜寺公園
23. ネキトンボ♂ 岸和田市牛滝
24. ネキトンボ♀ 岸和田市牛滝



五藤武史写真展「大阪平野の赤トンボ」会場

プロフィール

大阪府高石市在住。1951年同市生まれ。泉大津市内の小学校で2003年まで、教壇に立つ。

写真歴はちょうど50年。子どもの頃は、星座と電車ばかりを撮影。

教員になってからは、主に、野の草花を撮影。しかし、レンズは次第に昆虫に向けられるようになりました。今は、トンボ中心に撮影をする日々を送っています。

機材

Nikon D-100 AF NIKKOR 70-180mm
 AF-S NIKKOR 18-200mm AF-S NIKKOR 300mm×1.4t.